

# ばばたけ 広島サンダース

久原 大輝

SVリーグ中断期間に、天皇杯が東京都で開催された。準々決勝の相手は東京グレートベアーズ。11月の呉市でのホームゲームで連敗を喫した相手との再戦であり、リベンジを期する重要な一戦だった。

この試合はフェリペ・ロケ選手がコンディション不良で欠場し、その



チームを鼓舞するダニエル・マルティネス選手＝左から3人目 (13日)

## 悔しい敗戦 経験糧に

ポジションに新井雄大選手を起用する布陣で臨んだ。しかし結果は後味の悪いストリート負け。相手に上回られたというより、自分たちから崩れてしまった内容だった。

勝負事である以上、勝ち負けは避けられない。だが、やるべきことを何も表現することができず終わる敗戦ほど、悔しいものはない。結果を残し、サンディ（ファンネーム）と喜びを分かち合うこと。その責任の重さをこの一戦を通じて、改めて痛感させられた。

味わった悔しさを、必ず糧にしなければならぬ。若いチームだからこそ、酸いも甘いもすべての経験を教訓に変えて、サンダースの真の強さを追い求めたい。

年内の試合は残すところ2試合。この2戦を無駄にせず、姿勢と結果で再びサンディの期待に応えられるよう戦う。

今年も本コラムをご愛読いただき、ありがとうございました。年が明けてもリーグ戦は続きますので、引き続き、共に前を向いて戦いましょう。

(広島マネジャー)